

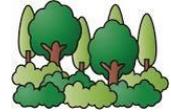
本のぼけっと

3・4年生に
おすすめする本

市川市立図書館

わすれものの森

岡田淳+浦川良治/作 B.L出版



学校のべんきょうはあまりすきではない小学校3年生のツトム。でも、
体育と、笛を上手に吹くことができる音楽だけは別だった。そんなツトムの
笛がゆくえふめいになってしまった。どこをさがしても見つからない。

しかたなく、放課後の学校にしるびこみ教室にしてみると、わすれものを
あつめて「わすれものの森」にもっていくのが仕事だという黒マントの
2人組の男に出会った。そこで、ツトムは2人に、笛をさがしに森に連れて
行ってほしいとたのんだ。

大事な音楽会でツトムは自分の笛を吹くことができるのだろうか。



手作り小路のなかまたち

新藤悦子/著 河村怜/絵 講談社

豆太郎のおいしい
料理のレシピつき



ななかまど町の袋小路には、五けんのお店があります。お店はみんな
手作りのものをあつかっていて、「手作り小路」とよばれています。
手さげ袋屋、ぼうし屋、ぼたん屋、カード屋、そしてカフェ[ビーンズ]が
ありました。

カード屋のひとり娘のかなめは、カフェ[ビーンズ]の花豆ばあばが
なくなりおちこんでいましたが、孫の豆太郎がかわりにカフェをはじめます。
ある日、かなめは彼から店のふしぎな人形のひみつを教えてもらいました。
そのひみつとは？

おいしい料理と手作りのものでお客さんを元気づけるおはなしです。



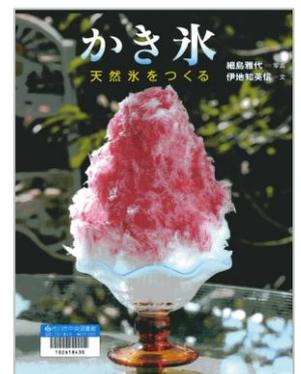
かき氷 天然氷をつくる

細島雅代/写真 伊地知英信/文 岩崎書店



つめたくておいしいかき氷。今は冷蔵庫を使つてつくるけど、むかしは
冬につくった氷を夏まで保存してついていた。池に水を入れ、自然の
冬の寒さを助けにつくられる天然氷。今でもそうやって氷をつくっている
氷屋さんがある。手間も時間もかかるつくり方だが、その仕事は代々伝え
られて完成したもの。

そうしてできた天然氷をふんわりけずって、色とりどりの蜜を
かけたらどんな味がするだろう。



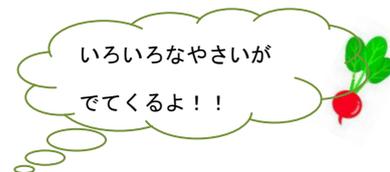
百まいのドレス

エレナー・エスティス／作 石井桃子／訳 ルイス・スロボドキン／絵 岩波書店

マデラインとペギーは仲よしの女の子です。同じクラスには、ワンダという、おとなしい女の子がいました。ある日、貧しいワンダが「ドレスを百まい持っている」と言い出し、ペギーがワンダをからかいはじめます。やがて、みんなもからかうようになりました。ところがとつぜんワンダの一家は、大きな町に引っ越してしまいました。

いじめは悪いことだと知りつつ、黙って見ていたマデラインは反省して、これからは人を不幸にするようなことはしないと心に決めたのでした。

すると冬休み前の日に、ワンダから手紙がとどきます。



ソフィーのやさいばたけ

ゲルダ・ミュラー／作 ふしみみさを／訳 B.L出版

夏休みにソフィーは、やさいを作っているおじいちゃんとおばあちゃんのおいなかの家に行きます。そこでもらったのは小さな畑。「すきなやさいを育てていいよ。」とおじいちゃんがいます。

つぎの日からおじいちゃんにたつだってもらってニンジンとラディッシュとレタスを作りはじめます。畑には、ソフィーが知らない、やさいをおいしくするひみつがいっぱいです。

さあ、みんなもソフィーといっしょにやさい作りチャレンジしてみましょう。



「本のぼけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で借りることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

